

会議議事録

会議名	令和3年度 第2回教育課程編成委員会
開催日時	令和4年1月18日(火) 14:00~15:00
会場	中央工学校附属日本語学校 5F
参加者	<p>委員 坂本 敏、佐藤 洋子、渡来 純如、上野 弘道、長谷川龍太、 對馬由希子、笹井 利浩、榎本 修、高橋 三行、溝口 健太</p> <p>陪席者 関野 格至、原 太一、佐久間恵子</p> <p style="text-align: right;">以上 13名</p>
会議録	<p>1. 開会挨拶 座長の坂本敏校長から開会の挨拶を行い、教育課程編成委員会が開会した。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症等への対策・対応（概要）説明 坂本校長から新型コロナウイルス感染症等への本校の対策・対応状況（概要）について説明があった。</p> <p>3. 愛玩動物看護師法施行に関する現況について 坂本校長から愛玩動物看護師法の確定情報等について説明があった。（配布資料参照）</p> <p>4. 令和4年度運営計画（案）について 坂本校長と佐藤洋子委員から令和4年度運営計画（案）の説明があった。（配布資料参照）</p> <p>（1）令和4年度運営計画（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の目的と教育方針 ・ 令和4年度運営重点項目 ・ 運営指針 ・ 学生在籍推定数 ・ 教育指導内容及び教育運営の充実 ・ 教育設備機器等の整備 ・ 就職指導体制 ・ 広報計画等

5. 具体的検討

前回同様、今回もコロナ禍における各業界の対応状況の紹介含め、今後更に改善を要する案件や意見が挙げられた。主なものは次の通り。

(1) 愛犬美容関連科（愛犬美容科・愛犬美容研究科）

- ・異業種で社会人経験を経てから、専門学校等で学び直し就職する人材が現れ始めた。社会人経験者は接客に繋がるコミュニケーション能力に長けており、企業側としても即戦力になる。
- ・愛犬美容関連科を卒業して、トリマーにならない人はどのくらいいるか？
⇒9割以上はトリマーになっており、方向性としては動物業界に就職をしている。
- ・技術的なことより、挨拶、遅刻、早退時のマナーなど、社会人として基本的な常識が備わっていない人が、人間関係や接客の問題により退職していく傾向にある。接客業をする上で求められる、人間関係を構築するコミュニケーション能力の高い人材育成に、力を入れていただきたい。
- ・従業員でもコロナ感染者が増えている。抗原検査キットを全従業員に配り、少しでも体調が悪い場合は、陰性を確認させてから出勤させている。陽性者は出勤停止となり、営業停止の状況に追い込まれる店舗も少なくない。現場のオンライン営業は難しいが、学校のオンライン授業の現状について確認したい。
⇒一昨年4月の緊急事態宣言後から5月までは、自宅学習に切り替えながらZOOMによるオンライン授業を行った。宣言明け6月の授業再開時の登校率は3～5割であった。7月以降はほぼ平常授業を行っているが、講義科目についてはいつでもオンラインでの遠隔授業を受講できる体制を整えている。

(2) 動物看護関連科（動物看護科・動物看護研究科）

- ・当動物病院では、カウンセリング動物病院への方針転換を図るべくカウンセリングルームを作った。犬や猫の症状別に、動物看護師がカウンセリングと並行して問診票を作成し、最後に獣医師が診察するというシステムに変えようと試みている。動物看護師業務の分業化により、退職者が減るというメリットがあるが、動物看護師増員で人件費も増えるため、営業時間の延長も検討している。また、獣医師の診察時間が短縮されることにより客単価が上がることも見込まれる。オンライン診察については実際にコミュニケーションを取りながらの診察を希望する飼い主が多いようで売り上げ増加には繋がらなかった。
- ・獣医の診察の技術は、今後AIが発展することにより価値が薄れてい

く分野でもあると推察されるが、人の心を癒すカウンセリングは、AIが立ち入ることのできない、人間ができる非常に重要な残されたポイントであると思われる。グリーンケアについても、在学中に傾聴スキルを身につけられるような、カウンセリング心理学を学ぶ機会を設けていただけたらと思う。

⇒コミュニケーション能力の向上も含めつつ、人へのケアという授業の導入も検討していきたい。

- ・国家資格となる愛玩動物看護師資格が、将来的に社会的地位の高い資格と認知されるためには、教育する側の取り組み、実践にかかっている。学生に夢や希望を持って学んでもらえるようなカリキュラムの作成を願う。動物病院側としても、動物看護師のキャリアを伸ばせるよう、さらなる待遇面改善を図っていくべきと自覚している。

⇒愛玩動物看護師としての責任、自負、自信を持つことができる人材の育成、教育に取り組んでいきたい。

(3) 動物共生関連科（動物共生研究科・動物共生総合科）

- ・特養においては、コロナ禍で学生の実習受け入れをできない状況である。職員から感染者が発生した際には、高齢者施設のためデイサービスを2カ月間中止とし、大きな損害を受けた。現在、家族との面会も禁止されている中で、実習生を受け入れることはできない。今後できる限り受け入れの検討をしていくが、他の近隣施設など、実習できる環境を増やしていただければと思う。コミュニケーション能力を身につける場として、学校以外で社会の人々と接することのできる重要な場であると思う。

⇒コロナ禍の為、現在、共生系の学生は、高齢者施設ではなく、公立保育園での介在活動を体験させていただいてはいるが、コロナが落ち着いたら、高齢者施設での介在実習受入の再開もお願いしたい。

- ・建設関連会社であるが、認定動物看護師が数名勤務しており、来年も数名採用予定である。現在、産学官連携事業を積極的に行っている。その中で、産学連携で犬猫の鳴き声の周波数の研究等を行っているが、本校の共生学生とも行える機会があれば、建設業に興味を持つ学生が出てくるのではと期待を持っている。

⇒本校ではカリキュラムの中で住環境に関わる知識を学ぶ授業がある。特別授業等で、具体的な取り組み、活動の紹介を是非お願いしたい。

(4) 各学科共通

- ・プロを育てる学校として、範を示すということが非常に重要である。マネジメントの方法がタスクマネジメントからヒューマンマネジメン

トに変化してきている。技術だけではなく、関係性をより深めていくことが必要となってきた。

⇒実践教育も含めた心の教育、心のこもった教育に携わっていきたい。

- ・動物看護師資格が国家資格となることは業界にとって大きな変化のタイミングである。もっとも興味をもって重要だと思ふことは、獣医師、動物看護師である国家資格者が社会に対して範を示さなければならない。動物看護師がプライドを持ってプロとして胸を張って仕事をしていく上で、薬剤師法について調剤行為が常態化しているということが大きな問題である。愛玩動物看護師法では、明確に、「できない」ということが示された。今後は経営、もしくは業界の働きかけの中で真摯に取り組んでいかねばならない。「プロを育てる」学校側として、共に改善し、成長していくという意味においても、正しい教育をしていただきたい。

6. 次回委員会開催連絡

次回の委員会を、令和4年6月14日（火）14：00～15：00とする。詳細は後日連絡。

7. 閉会

座長の坂本敏校長から閉会の挨拶があり、教育課程編成委員会が閉会した。

【配布資料】

- ・教育課程編成委員会 令和3年度第2回委員会 議事次第
- ・令和4年度運営計画（案）
- ・教育課程編成委員会 令和3年度第1回委員会 会議議事録
- ・愛玩動物看護師法案関連資料

以上